



CEATEC JAPAN 2016開催報告 「CPS/IoT Exhibition」として大きく変革

CEATEC JAPAN 2016は「CPS/IoT Exhibition」に大きく舵を切り、未来を見据えたコンセプトや新しいビジネスモデルを発信する「CPS/IoTの総合展」として開催しました。昨年を大幅に超える数の出展者や登録来場者が集い、「産業」「技術」「政策」の繋がりを国内外に発信するとともに、業種や産業を超えた連携による事業創出や世界各国との政策連携なども含めた「共創」を生み出す場として、大きく動き出しました。

[出展者数：648社／団体(前年比22%増)]

[登録来場者数：145,180人(前年比9.1%増)]

オープングレセプション

開幕前日、都内パレスホテル東京で、今回CPS/IoT Exhibitionの象徴として「シーテックジャパン2016」のオープングレセプションが初めて開催されました。冒頭では安倍晋三 内閣総理大臣より、IoTやインダストリー 4.0など新たなイノベーションに舵を切るCEATEC JAPAN 2016への支持が表明されました。

続いて高市早苗 総務大臣、世耕弘成 経済産業大臣が登壇し、CPS/IoTを新たな軸と定めたCEATEC JAPAN 2016に期待が示されました。



オープングレセプションの安倍晋三 内閣総理大臣



高市早苗 総務大臣(左)と世耕弘成 経済産業大臣

展示／出展者



CPS/IoTにより変わる社会や産業を初めて「社会」「街」「家」「支える」のエリア別に展示し、将来的にCPS/IoTがどのようにライフスタイルを変えていくのか体感できる構成としました。昨年比22%増となる648社／団体が参加、うち今年注力した海外企業は昨年比29%増の195社／団体(24ヵ国／地域)が参加、また革新的なベンチャーや大学発のテクノロジーは昨年比2.5倍となる139社／団体が出展しています。

今回の新生CEATEC JAPANのコンセプトを象徴する主催者特別企画「IoTタウン」では、三菱UFJフィナンシャル・グループやセコム、タカラトミー、JTB、楽天などIT・エレクトロニクスを利活用するユーザ企業が10

社／団体出展し、金融、観光、ショッピング等において、IoTが創り出す未来の街を提案しました。



カンファレンス

CEATEC JAPANの大きな柱の1つであるカンファレンスでは、JEITA東原会長のCPS/IoT時代に向けたキーノートスピーチをはじめ、米独英など海外の最新動向、AIやIndustry4.0、Fintechなど多様なテーマで137本におよぶ講演が行われ、各分野で技術をリードする国内外トップ企業や研究機関などから多数のキーパーソンが登壇しました。



VIPツアー

政府要人のみならず、今年のキーワードである「海外」や「異業種」分野の方々に多くご参加いただき、今後

IT・エレクトロニクスの連携の可能性をさぐる機会となりました。

メディアへの掲載

メディアでは、CPS/IoTが新たなキーワードとして多数の紙面に取り上げられました。従来の家電見本市からCPS/IoTにコンセプトが大きく変わった旨が前面に出された内容となりました。

- ・IoT 暮らし変える「シーテック」開幕 (10/4 日経)
- ・家電見本市、IoTへ衣替え シーテックきょう開幕 (10/4 朝日)
- ・IoTのある生活 体感 シーテック開幕 (10/4 読売)
- ・As developers gather at CEATEC, tech show is no longer just for consumers (Oct, 4th, The Japan Times) など多数。

【登録来場者数】

2016年	10月4日(火)	10月5日(水)	10月6日(木)	10月7日(金)	合計
来場者	24,981	27,807	33,690	37,682	124,160
プレス	958	216	198	201	1,573
出展関係者	5,553	4,843	4,586	4,465	19,447
登録来場者合計	31,492	32,866	38,474	42,348	145,180

(前年比9.1%増)

(参考)

2015年	10月7日(水)	10月8日(木)	10月9日(金)	10月10日(土)	合計
登録来場者	31,613	32,814	42,106	26,515	133,048

CEATEC JAPAN 2017は
2017年10月3日(火)～6日(金)
幕張メッセにて開催予定です。